

## 平成30年度資金収支状況について

### 1 資金収支

平成30年度における歳計現金等（歳計現金と雑部金）の残高は、年度当初が約179億8千万円、平成31年3月末では約155億5千6百万円であった。

その間、歳計現金等の残高は安定的に推移をし、一日あたりの平均残高は約74億3千4百万円、最高残高が約179億8千万円、最低残高は約21億1千5百万円であったため、繰替運用及び一時借入れを実施する必要は生じなかった（表1参照）。

表1 歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
最高額	20,670	20,670	17,980
最低額	3,111	3,807	2,115
平均額	10,143	9,965	7,434

### 2 基金運用

平成31年3月末現在における積立基金の残高は、約731億円であり、前年同期に比べ、約28億円の増となっている。

平成25年4月から開始された大規模な金融緩和政策によって市場には大量の資金が供給され続けるなか、平成28年2月より実施されている日銀のマイナス金利政策の影響は非常に大きく、現在においても金融機関の定期性預金金利及び債券利回りは極めて低い水準となっている。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性と流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、平成30年度の運用益は約6千9百万円、運用利回りは約0.09%となった（表2参照）。

なお、平成31年3月末の積立基金運用状況は、表3を参照。

表2 積立基金運用益比較

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年度末残高	61,726,608,715円	70,361,236,130円	73,124,748,647円
運用益	60,523,321円	53,583,197円	69,486,837円
運用利回り	0.10%	0.08%	0.09%

表3 積立基金運用状況 (平成31年3月29日現在)

(単位:円)

基金名	残高	運用種別		
		普通預金	債券	定期性預金
財政調整基金	32,933,386,581	3,805,351,581	498,035,000	28,630,000,000
社会福祉施設整備基金	3,775,818,658	5,818,658	500,000,000	3,270,000,000
減債基金	781,091,569	11,091,569	200,000,000	570,000,000
義務教育施設整備基金	21,138,674,578	8,674,578	0	21,130,000,000
平和基金	100,980,000	1,000,000	99,980,000	0
区営住宅整備基金	1,111,365,119	1,365,119	0	1,110,000,000
介護給付費準備基金	2,660,418,721	140,418,721	0	2,520,000,000
道路・公園整備基金	3,151,712,671	321,712,671	0	2,830,000,000
まちづくり基金	7,388,030,333	1,148,030,333	0	6,240,000,000
区民公益活動推進基金	1,284,852	1,284,852	0	0
環境基金	81,985,565	31,985,565	0	50,000,000
計	73,124,748,647	5,476,733,647	1,298,015,000	66,350,000,000